



旧赤堀町にある「あかぼり小菊の里」



in 伊勢崎市

丘陵を埋めつくす小菊の花

菊の花は古くから、不老長寿や繁栄をもたらす縁起の良い花とされてきました。その清々しい香りには邪気を払う力があると信じられ、菊の花を浮かべて入浴する「菊湯」や、菊の花をつめた枕で眠る「菊枕」など、菊を用いたさまざまな風習があったそうです。花は大きさによって、大菊、中菊、小菊に分けられます。今回ご紹介するのは、小菊の名所「あかぼり小菊の里」。伊勢崎市の北端に横たわる標高168.3mの峰岸山にあり、最盛期には、山のなだらかな斜面が一面、黄色やピンクの小菊で埋めつくされます。



丘陵を鮮やかに染める小菊

峰岸山の約2万3000㎡の敷地に、小菊約2万株が咲き誇る「あかぼり小菊の里」。その始まりは平成15年、地元農家とボランティアの方たちが「峰岸山に小菊を咲かせて、地域を元気にしよう、人々の交流につなげよう」と、山の南面に苗を植えたことでした。今は、約100名のボランティアのみさんからなる「小菊の里づくりの会」がその想いを受け継ぎ、苗作りから植えつけ、除草などの管理を手がけています。そして毎年秋になると、素晴らしい芳香を放つ小菊を咲かせて、県内外からのたくさんのお客さんを迎え入れ、楽しんでいただけます。ちなみに、小さな花が寄せ集まり、こんもりと丸い形に咲くのは、自然に丸くなる性質があるからです。「あかぼり小菊の里」は、眺めも良いところです。北に赤城山、西に榛名山と妙義山を望み、のんびり散策しながら山頂まで行けば、南に秩父の山々と伊勢崎市の街並みを見晴らすことができます。



丸い形に咲くのが特徴



県内外から訪れる花見客

峰岸山一帯は、古墳群など遺跡の宝庫。小菊を満喫した後は、歴史散策や「伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館」を訪ねるのもおすすめです。石器時代からの埋蔵品が展示されるほか、江戸時代末期の古民家を移築し、昔の暮らしを伝える展示室もあります。この機会に、地域の歴史を楽しみながら学んでみませんか？

編集だより

散策に疲れたら、カフェで一休みしませんか？立派なケヤキがシンボルのこちらのカフェは、店主選りすぐりの豆を使ったオリジナルブレンドのコーヒーが人気。香り高くなるやかで、ほっとするおいしさです。そのコーヒーで作る贅沢なコーヒーゼリーや、お腹が空いたらナポリタンもおすすめ！



カフェテラス オンブラージュ
住所…伊勢崎市赤堀鹿島町270-2
営業時間…11時～20時
(ラストオーダー19時)
定休日…水曜
TEL…0270-62-3461



市内で出土した埴輪や縄文式土器



ほべたん、伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館へ！

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。
※一部取材先より画像をお借りしています。